

患者さんへ

「消化器系腫瘍における CD133 発現」の研究について

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、現在、平成 15 年 4 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までの期間中に膵臓内分泌腫瘍、消化管内分泌腫瘍（胃、十二指腸、小腸、大腸を含む）、食道癌の外科的切除を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、消化器系腫瘍の研究を行っております。この研究は、神戸大学と Asan Medical Center（韓国）、Technische Universitat Dresden（ドイツ）参加する共同研究です。

消化器系の内分泌腫瘍と食道扁平上皮癌は腫瘍発生に関して不明な点が多く残されています。また、内分泌腫瘍は予後を予測するのが難しい腫瘍です。今回の研究では、幹細胞マーカーである CD133 がこれらの腫瘍でどのように発現しているかを検討し、その発現が予後などの臨床的特徴とどのように関連しているかを検討します。

本研究をとおして CD133 が予後因子であることが明らかとなれば、今後の症例に対して役立つ可能性があります。

【研究期間】

この研究は、神戸大学大学院医学研究科長承認年月日（平成 27 年 8 月 13 日）から平成 29 年 3 月 31 日まで行う予定です。

[取り扱う試料およびデータ]

- ・ 患者背景：性別、年齢
- ・ 臨床経過データ：診断契機、術後経過
- ・ 放射線学的データ：術前の画像所見
- ・ 切除された組織：病理組織学的特徴、免疫染色

【個人情報保護の方法】

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科病理診断学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

【研究への試料およびデータ提供による利益・不利益】

利益・・・本研究への参加に伴って、直接対象者に利益が生じることはありませんが、この研究の成果によっては、今後の患者にとって有益な情報となることが期待されます。

不利益・・・本研究では、保管されている病理組織検体ならびに臨床データを収集するのみであるため、不利益や危険性が生じることはありません。

【研究終了後の試料およびデータの取り扱いについて】

今回の研究に使われる病理組織標本やデータが医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、試料およびデータ等を研究終了後も保存させていただき、新たな研究等に使用させていただきたいと思っています。その場合にも、上記のように全ての患者さんの情報を匿名化してデータを扱い、厳重に保管いたします。ただし、本研究終了後にデータを廃棄することを望まれていらっしゃる場合には、下記 **【問い合わせ窓口】**までご連絡ください。この場合には、個人を特定できない状態で速やかに廃棄させていただきます。

なお、保存させていただいたデータを用いて新たな研究を実施する際には、その研究について、医学倫理委員会で再度、審査を受けることとなっております。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究への試料およびデータ使用の取り止めについて】

いつでも可能です。病理標本やデータを本研究に用いられたくない場合には、下記**【問い合わせ窓口】**までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

HP 掲載用

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理診断学分野病理ネットワーク学部門

特命教授 全 陽

連絡先：078-382-6473